

どうなる?? 新しいまち「新川崎」

街路環境と緑と防災のまちづくり

新鶴見操車場跡地のまちづくりへの区民の関心と期待は大変高く、幸区の都市マスタープラン作成にあたっては「森の中のエコシティ・新川崎」をまちづくりテーマに幸区構想検討委員会より将来像の提案がされました。

そのなかで、幸区中央部の生態系創造の拠点として、新鶴見操車場跡地(新川崎地区)に豊かな森をつくり緑と水のネットワークを構築することや跡地周辺の日吉地区は低層住宅が多く、まとまった空き地が少ないために、災害時に新川崎地区内や周辺の住民が一次避難できる緑のオープンスペース等の確保による防災拠点機能を担うことが期待されていました。

新川崎地区の開発はどんどん進んでいます。そこで、行政の担当者より新川崎地区の全体計画の説明を聞き、マスタープランに基づいた配慮が十分になされてきているのか、あるいは整備されていく緑のオープンスペースや新しい街路環境が防災の視点から機能しうるのか等を様々な立場から検証し、提案内容が事業に生かされ、実現化するためにはどうしたらよいか考えるフォーラムを開催します。

◆日時: 4月4日(土) 13:30~16:30(受付: 13:00~)

◆場所: 創造のもり K2ハウス 大会議室

(新鶴見操車場跡地内 詳細地図裏面)

パネリスト: 若林 武 氏 (川崎市まちづくり局新川崎・鹿島田周辺整備事務所 所長)
 荻原 茂 氏 (川崎市環境局緑政企画課 主幹)
 高野 公男氏 (都市計画家/マヌ都市建築研究所代表)
 岩崎 哲也氏 (防災植樹専門家/農学博士)
 荒尾 克彦氏 (彫刻家/東京農業大学講師)
 廣瀬 俊介氏 (環境デザイナー/風土形成事務所主宰)
 丸茂 喬 氏 (ランドスケープデザイン誌編集長)

コーディネーター: 田賀 陽介氏 (環境プランナー/NPO 法人 幸まちづくり研究会会員)